

エンターテインメントと沖縄

沖縄尚学高等学校

3 年生 平井 見幸

沖縄の観光地としてのイメージは青く透き通った海や空、やんばるや西表島の自然、首里城を中心とした世界遺産だと思います。これらは現在観光地として国内有数だと思います。しかし今後も沖縄の観光をさらに発展させるためには別の視点から新しい観光を創造していくべきだと思います、私は音楽や芸能文化に着目しました。

海外の例としてアメリカはナイトライフの人气が高く、ドイツのベルリンではクラブツーリズムへ行くためにヨーロッパ各国から年間 900 万人が訪れているというデータがあります。沖縄もまた今年の 2 月から訪日外国人向けに沖縄を中心とした日本各地の文化、芸能を体感できるナイトコンテンツ「RYUKYU AMAZING NIGHT」を JTB 沖縄が行っています。とは言え、多くの日本人には、夜の遊びという響きには何かしらマイナスなイメージがあると思います。しかしそのようなイメージを振払い国内外から人を多く集めることができるナイトライフツーリズムを沖縄でも実現可能です。それはエンターテインメントなどのショービジネス、様々な分野のコンサート、文化・芸能舞台、野球・サッカーなどのスポーツイベントの開催です。去年沖縄コンベンションセンター屋内会場で行われた安室奈美恵のラストコンサートでは会場外にも多くのファンが溢れ国内外からも約 1 万人ものファンが集まったというニュースがありました。それを見て、こんなにも人が集まるんだと衝撃を受けたほどです。安室奈美恵のように人気のあるアーティストなどは、熱狂的なファンが多額のお金を払ってでも遠い沖縄にまでやってきます。しかし、ファンの中には高額だからという理由で来たくても来られない人が多いはずです。高い人気があるか否かに関わらずこれはどのようなアーティストであっても有りうる事です。

そこで私はこのように音楽や文化などのイベントを通して、多くの人を国内外からも呼べるよう安価なツアーを計画すべきだと思います。国内有数のコンサート会場と比べると沖縄のコンサート会場は交通の便が悪く、また多くの会場が那覇から遠いことで利便性が悪いと思われます。会場が空港や宿泊先から離れていることで交通機関の利用料金が高くなり、また初めて沖縄に来た人は会場までちゃんと行けるか不安を感じる人もいるでしょう。そこで全国的に有名なアーティストなどが沖縄でライブをする際は、チャーター便やバスなどの交通、ホテルを含めたパックツアーを組むことで割安となり、沖縄に多くのファンや観光客を呼べると思います。

また次に提案したいのは、那覇軍港の 1 部を返還してもらいその敷地を利用して 2,3 万人収容可能で様々な用途で使うことができるホテルを含む屋内のイベント会場を作ることです。そうすれば空港にも近く交通手段もモノレールが追加されるため、かなりの時間の

短縮となり利便性は高まります。また気軽に那覇市内にある首里城や国際通りの観光にも行けます。会場から退出した後は近くの店で飲んだり食事をしてもらうことで、観光客の消費額も増えると思います。このようなイベント会場があることで天候に関係なくいつでも音楽コンサートやフェス、舞台以外にも沖縄の料理を振る舞うイベントを行うことが可能となります。すると、沖縄の観光のみならず、沖縄の県民の芸能・文化の振興発展にも貢献できる事はまちがいありません。

さらに沖縄には世界に向けて発信できる音楽、芸能、文化がありそれを活用できる環境も整いつつあります。沖縄市にあるコザ・ミュージックタウンでは様々なバンド、音楽グループなどが活動しており観客の中には県内外からも来ている人も多く注目を集めています。沖縄には米軍基地があります。米軍基地の中で行われていたフェスティバルに行った際様々なアーティストによるライブが行われており沢山の人が音楽にノリノリになって楽しんでいました。県内には軍人、軍属を問わず沢山のアメリカ人がいて、その他にも約1万5000人もの外国人が住んでいます。この中には米軍関係は含まれておらず、それを含めると総計で約2万強の人数になるはずです。このような県内在住の外国人もまたライブに呼び込めますし、実際コンサート会場は多くの外国人で溢れる事も多いです。沖縄の人たちも沖縄のアーティストやエイサーなどの芸能文化で、音楽に触れる機会が多いと思います。そして沖縄の伝統芸能文化、その中でも組踊はユネスコ「無形文化遺産」に登録されており、国際的にも高く評価されています。海外にはこういった文化に興味を持つ人も多く、沖縄は台湾や中国、フィリピンなど東南アジアなどのアジアに1番近い位置にあり、韓国とも歴史的にも深い関係にあり国内外からも注目されている観光地でもあります。沖縄の伝統文化をもっと楽しんでもらう場を用意することによって、興味を持った人がまた沖縄に来てくれるリピート客の確保にも繋がります。それがさらに伝統文化を未来に継承していける力となると思います。そのためにも今後も県や私たち県民が積極的に内外にアピールしていく必要があります。テレビでコマーシャルを流すことで観光客に目を向けてもらえる機会にもなりますし、私たち県民もさらに伝統文化に興味を持つ事ができると思います。

私は沖縄に移り住んで14年になりました。確かに沖縄は不便な所もありますが、そんな所を含めて私は沖縄が好きです。そして観光立県をうたっている沖縄に住んでいたからこそ、私は観光に興味を持ち、将来も観光に携わる仕事をしたいと思うようになりました。その為にも来年沖縄を離れ、県外で観光を勉強する予定です。一時的には沖縄から離れてしまうこととなりますが、そこでまた新たに違う視点で沖縄の観光について見直すことができます。また沖縄に戻って上記に挙げた観光と芸能その他多くのイベントを融合した観光を実現させるべく、勉強したことを活かして沖縄の観光のために尽くしていきたいと思います。